

人と音を結び  
Classic Nagoya  
**クラシック名古屋**  
〒460-0024  
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F  
TEL (052) 678-5310 FAX (052) 678-5330  
<https://clanago.com>  
プレイガイド  
**アイ・チケット**  
☎0570-00-5310

**ナゴヤ劇場ジャーナル**  
◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

**MP MANAGEMENT PRO**  
①舞台イベントの企画制作・マネージメント  
②芸術コンサルティング  
③タレントのマネージメント  
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行  
株式会社 マネージメント・プロ  
〒461-0004 名古屋市中区栄2-11-22 アバンテージビル301  
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097  
E-mail: mane-pro@mane-pro.com  
HP: <http://www.mane-pro.com>



杉村奈々花



宇津舞衣子

家庭でも学校でも、さまざまな騒動を巻き起こす「夢見る少女」アン・シャリー。孤児院で育

来月1月23〜25日 アートピアホール

## 「夢見る少女」の愛と勇気の物語 ミュージカル「赤毛のアン」

名古屋文化振興事業団2026年企画公演  
名古屋文化振興事業団  
**赤毛のアン**  
ANNE OF GREEN GABLES  
小さな島で見つけた、大きな愛の物語。  
2026年1月  
23日(金) 13:30・18:30  
24日(土) 11:30・16:30  
25日(日) 11:30・16:30  
名古屋青少年文化センター  
アートピアホール  
入場料(全席指定)  
S席(1階100円) 前中・後中・後大(1階) 1,800円  
B席(1階100円) 前中・後中・後大(1階) 1,200円  
C席(1階100円) 前中・後中・後大(1階) 800円  
D席(1階100円) 前中・後中・後大(1階) 500円  
E席(1階100円) 前中・後中・後大(1階) 300円  
F席(1階100円) 前中・後中・後大(1階) 100円  
チケットは、名古屋文化振興事業団のホームページで販売します。

ち、農場を営むカスパー・ト兄妹に引き取られたアンは、美しいカナダの自

然と、温かな周囲の人々に恵まれ健やかに成長し

1908年に出版され、現在も世界中で愛され続

けるモンゴメリーの代表作「赤毛のアン」が、2026年1月23〜25日(全6回)名古屋文化振興事業団2026年企画ミュージカルとしてアートピアホールで上演される。日本では1979年に高畑勲監督のアニメ版がオンエアされ好評を博し、劇団四季の人気レパートリーとしても繰り返し上演されている「赤毛のアン」。今回の事業団公演ではテアトル・エコーの平野智子(台本・演出)を、小川こういち(振付)を担当。演奏は名古屋音楽大学出身の柴田祥・指揮のアヴオニリー・ユース管弦楽団が行う。



この公演は、競輪の補助を受けて実施します。



年末恒例の公演を行う伊藤わか奈

「バロックからロマン派、近現代の名曲を」  
ピアニスト伊藤わか奈がリサイタル  
12月26日 電気文化で「展覧会の絵」  
「バロックからロマン派、近現代まで、幅広くグラムを構成しました。」  
楽しんでいただけるプロ

名古屋出身のピアニスト伊藤わか奈が年末恒例のリサイタルを開く。12月26日(午後6時45分)電気文化会館で行う「展覧会の絵」だ。

伊藤は菊里高校から東京藝大に進学。同大学院在学中にドイツのベルリン芸術大学に留学。帰国後は2014〜16年、「ベートーヴェンピアノソナタ全曲演奏会」を開催。名古屋音楽芸術奨励賞、名古屋音楽ベンクラフ賞を受賞している。

# 「6人組、100余年の時を超え」

ダンス メゾプラノ ソプラノ チェロ クラリネット ピアノ

倉知可英・相可佐代子・毛利美奈子・佐藤有沙・箱崎由衣・山内敦子

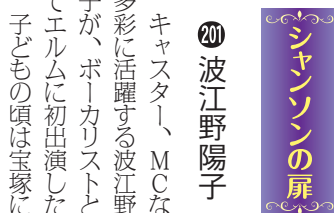


披露公演を行う現代、名古屋の「6人組」

「音楽、バレエ、美術、ファッションなど、あらゆる芸術活動が最高潮に達した1920年代のバリを思い描いて

サティらフランス作曲家の名作を披露  
フランスの作曲家エリック・サティ(1866〜1925年)が、ジャン・コクトーの台本に基づき作曲したバレエ組曲「パレード」(街頭で行うパレードのこと)。この曲に刺激を受けた6人の作曲家が、新たな音楽の潮流を求めて「フランス6人組」を結成した。(ダンス)相可佐代子(声)

構成・演出を担うのは「渦の中の女たち」(2019年)、「瑞穂文化小劇場開館10周年記念公演」(25年)など、様々なジャンルのコラボレーションを成り立たせてきた倉知可英、エ、美術、ファッションなど、あらゆる芸術活動が最高潮に達した1920年代のバリを思い描いて



一度の人生、いろいろな景色を  
キャスト、MCなど多彩に活躍する波江野陽子、ボーカリストとしてエルムに初出演した。子どもの頃は宝塚に憧



エルムに初出演した波江野陽子

ステージを創造したい」と意気込む。プログラムはフランス6人組作曲家の曲とサティの「パレード」。どんな演出、編成で上演するかはシークレット!!  
nagoya@gmail.com

全曲、「あおい英斗」作詞によるプログラム!  
プログラム ※都合により曲目や曲順が変更になる場合があります。  
♪ ああ、麗しき人よ / 亡き王女のためのパヴァーヌ(ラヴェル作曲)  
♪ 楽しい結婚披露宴 / ヒカデリー(サティ作曲)  
♪ アランブラの思い出(タレガ作曲)  
♪ 過ぎ去りし思い出 / 戦国オペラ「本能寺燃える」よりほか  
ソプラノ 加藤恵利子  
テノール 田中良和  
バリトン 塚本伸彦  
ナビゲーター 川本えこ  
**未だ 愛が満載! ヒット曲のない音楽会 2026**  
All Songs Are Lyrics of EITO AOI  
1.24 SAT 1st 13:30 Start 13:00 Open 2nd 17:30 Start 17:00 Open  
チケット料金[全自由席・税込]  
一般 前売 3,500円 | 当日 4,000円 | 高校生以下 前売・当日共に 1,000円  
※高校生以下の方は入場時に学生証のご提示をお願いします。※未就学のお子様のお入場はご遠慮ください。※前売りの時点でチケットが売り切れしてしまう場合、当日券の販売はありませんのでご了承ください。  
メニコンビジネスアシスト(MBA)イベント・クリエイション部  
電話 052-935-1630 (平日10:00〜18:00)  
HITOMIホール  
名古屋市中区栄三丁目21番19号 メニコンANNEX 5F

ダンスケイト(バレエ&ダンス用品) ~ 移転しました ~  
オンライン  
Instagramは  
動画で鑑賞し放題  
新住所 〒460-0008愛知県名古屋市中区栄4-15-23 10階(1015号) ★ライオンズマンション久屋公園 10F

歌っている。「エルム」は10年程前に加藤修滋がきてくれる名古屋で出演できてうれし」と話す。今はモデルとしても活動し、MBSラジオ「ありがとう浜村淳です」土曜日です。にも出演。いいと思った、どっちの景色も見なくなる性分。二刀流が言いやすい時代になったし、健康に前向きに、ドキドキできることをやりたいです。(聞き手・竹本真哉)



近松門左衛門の名作を題材にー  
BALLET・NEXT新春公演市川透が創作振付「落葉と薔薇」  
1月18日 芸術創造センターで

文学をバレエとして再現する異才・市川透の創作



市川明日香



内藤 瑞希

作振付作品「落葉と薔薇」が、BALLET・NEXT 2026年の新春作品として1月18日、芸術創造センターで上演される。2020年に初演、5年ぶりの再演になる。近松門左衛門の名作を題材に、人の世の情愛、因縁、煩悩を和洋折衷の手法で表出する。

物語は二組の男女の道行を情感たっぷりに描き上げる。昼の部（正明、そして市川の描き上げる幻想とロマン。名匠・蜷川幸雄の演出で大ヒットした演劇「近松心中物語」に勝るとも劣らぬ名作バレエである。

前売りは1階指定席8500円、2階自由席6500円（当日は各500円増し）。TEL 052（779）0756。

「花鳥風月」と「百花繚乱」のテーマは同一だが、構成と演出、結末が変わる。オーディションで選出されたダンサーたちの優れた演技、時空を一転させる衝撃的な照明、そして市川の描き上げる幻想とロマン。名匠・蜷川幸雄の演出で大ヒットした演劇「近松心中物語」に勝るとも劣らぬ名作バレエである。



西尾 美紅



山本恵里菜

文学をバレエとして再現する異才・市川透の創作

平和希求ライブ  
2025.12.20 sat open 14:00 start 14:30 charge ¥4,000 + 飲食  
平和を願うシャンソンと、小堀勝啓氏による講演。ゲストに岡田邦彦氏を迎えて贈る平和希求ライブ特別版！  
理想のシャンソン空間 Cafe Concert **イルム** 名古屋市千種区吹上2-4-5 TEL 052-733-0085  
出演：芹沢祥子（シャンソン歌手）、小堀勝啓（フリーアナウンサー）、岡田邦彦（ゲスト）

新作日本舞踊  
数年後、日本舞踊はこう変わる。名古屋文化振興事業団が主催する「やっ」とかめ文化祭、新作日本舞踊（11月8日・名古屋能楽堂）を見て思った。日舞がどんな現代舞踊（モダンダンス）に近付いているのである。  
名古屋地区を中心に活動する日本舞踊7会派が出演。第一部は小学生、若手が出演し、会派ごとに小品を披露した。まず驚いたのは曲目。Miss GREEN APPLEやPerfume、MIAといった（高齢の私には）国籍不明のポップスが多用されたこと。次は照明。ギンギラの色彩にストロボの点滅。まるで若者たちが集うクラブである。能楽堂の若松もびっくり仰天したところ。う。さて、気を取り直して作品を見ると、ポップスと意外にマッチした秀作日舞も  
稲垣流「光放つ」のワンシーン  
色彩にストロボの点滅。まるで若者たちが集うクラブである。能楽堂の若松もびっくり仰天したところ。う。さて、気を取り直して作品を見ると、ポップスと意外にマッチした秀作日舞も

日本歌曲を和服姿でしっとり  
名古屋波の会  
「日本歌曲を美しく歌うこと」をテーマにする「名古屋波の会」（代表・伊藤晶子）が定期演奏会（10月25日・電気文化会館）を開いた。出演者13人、全員が女性である。  
前半「大正」  
後半「波の会」では加川文子が期待通りの名唱。瑞々しく豊かな歌声で、作曲家・孤田尚子（10月25日・電気文化会館）を開いた。出演者13人、全員が女性である。  
「春の声」でトリを締めた伊藤晶子  
前半「大正」  
後半「波の会」では加川文子が期待通りの名唱。瑞々しく豊かな歌声で、作曲家・孤田尚子（10月25日・電気文化会館）を開いた。出演者13人、全員が女性である。

ロマン」では8人が和服姿で登場。着付けも立ち居振る舞いもソツがないのは、日舞にも造詣の深い伊藤の指導の賜物である。出演者の中には「浜千鳥」を歌った飯田賀菜が際立った。自身の声を楽器として磨き上げ、正確にコントロールした。

## 仏音楽への探究心、歌唱力で圧倒

相可佐代子リサイタル

歌曲は文学であり、歌手は役者である。相可佐代子（メゾソプラノ）のリサイタル（10月17日・電気文化会館）を見て、そんな印象を受けた。

前半は相可が追い求めるラヴェルの歌曲。バレエ音楽やピアノ曲で有名な作曲家だが、歌曲にも多くの作品を遺している。



後半はサクソフォン奏者の目下部任良を加え、ホアキン・ニン「夜警の歌」、デルヴァンクール「クロカンフッシュ」の世はを披露した。

「夜警の歌」では相可の歌声とサクソフォンが穏やかに調和した。「露の世」は「花鳥風月」の主演は内藤瑞希と山田裕也、市川明日香と梶田真嗣の二組。夜の部（午後4時30分）「百花繚乱」は西尾美紅と長谷川元志、山本恵里菜と野々山亮の二組。

「夜警の歌」では相可の歌声とサクソフォンが穏やかに調和した。「露の世」は「花鳥風月」の主演は内藤瑞希と山田裕也、市川明日香と梶田真嗣の二組。夜の部（午後4時30分）「百花繚乱」は西尾美紅と長谷川元志、山本恵里菜と野々山亮の二組。

## 巧みな台本と構成で名物公演に

エポックスステージ

エポックスステージ「オペラ歌手ですが、なにか？」（10月18日・メニコンシアターAオー）は、名古屋二期会の歌手がオペラリアなどを芝居仕立てにして楽しめる試みだ。女性には中嶋真利子、古沢加奈子、松川亜矢、石原まりあ。男性は山本治樹、山崎太郎に客演の内田智一。テーマソング「ひよっ



奮闘する名古屋二期会若手勢  
「カルメン」トスカなどの有名なアリアと、リスト「愛の夢」、エルガー「愛の挨拶」、サティ「グノシエンス」など器楽曲に、あおい英斗が作詞した歌を挟んで14曲。

曲目を見てまともでない気がしたが、案内役の俳優・末吉康治が軽妙なトークと演技でいくつものストーリーにしていける。最後はオペラになるだろう。（上原）

「弦楽のための三楽章」  
は立奏）で行われたのは芥川也寸志「弦楽のための三楽章」トリプティック」と、レスピーギ「リュートのための古風な舞曲とアリア第三組



芸達者ぶりを発揮する名古屋オペラ協会の面々  
俳優いこの福代の構成と演出。第一部では名古屋オペラ協会が中心になり、歌と朗読で賢治の代表作を切れ目なく展開。芸達者のいこの

この公演は昨年12月に64歳で他界した演出家・齋藤敏明さんが企画したもの。いのちの同胞たちが意志を継ぎ、齋藤さんの思い描いたステージを実現させたのである。

## 故・齋藤敏明さんの遺志を継ぎ

歌っても、語っても、演じて、魅力の尽きない宮沢賢治の世界観。愛知芸術文化協会（ANET）と芸術創造センターが共催で「ケンジの大広場・詩と歌と賢治への旅」（10月25日・芸術創造センター）を上演した。

巧みな話術で観客を盛り上げた。

第二部は公演のメインプログラム「永訣の朝」。24歳の若さで病死した賢治の妹・トシの最期の日々をつづった長編詩。野村胡堂が合唱曲として作曲し、めいおん合唱倶楽部が哀しみの鎮魂歌に魂を吹き込んだ。

（シゲル）



## 歴史、搾取、差別を体現した力作

オル太

オル太の舞台「エターナル・レイバー」(10月10〜19日・芸術劇場小ホールII)写真は力作だった。

オル太は民間伝承、歴史的出来事、土地の固有性などを調査・再解釈し、現代における集団の在り方やアイデンティティを問う作品を発表する芸術家集団。本芸術祭では、大日本帝国時代と現代の連続性・経済発展の裏の搾取と労働を、現代女性の体と重ねて描いた。

会場には農耕民族を思



わたる山と住空間、近代的な機械装置が駆動する労働空間、大型災害の発生を思わせる情報などが存在。観客は、それぞれの空間で起こる出来事を追いつめながら、それが過去の負の歴史の物語化なのか、未来にも起こるディストピアなのか、劇場

## 表現の奔流で時代を通し、つなぐ

マユンキキ+

マユンキキ+の舞台「クシテ」(10月12、13日・芸術劇場大ホール)

マユンキキ+は、現代に生きるアイヌをテーマに創作を重ねてきた音楽家・現代美術家。本芸術祭では、ボーカルの姉レクボ、音楽家の廣瀬拓音ら、こ



写真提供・国際芸術祭「あいち」組織委員会

## 48人、オーラとパワーを集結し

音楽劇「覇王の夢」

老若男女、総勢48人のパワーと熱意に圧倒された。オフィスKANの音楽劇「覇王の夢」あき

らめねば、夢はかなう」(10月31日〜11月3日・昭和文芸小劇場)。戦国時代の抗争を、俳優・小



はつらつ若い出演者たち

## 間奏曲

名古屋・伏見の「しらかわホール」が、来年4月に再開する。

1994年にオープンした「しらかわホール」は、700席近い中規模のクラシック音楽に適したホールとして30年間愛用されてきた。

「三井住友海上しらかわホール」と名称は変わったが、セントラル愛

「あきらめねば、夢はかなう」のテーマに向かい、一気に熱を帯びる。48人の出演者それぞれが、持てる力を最大限に発揮して、オーラとパワーで観客をねじ伏せたのである。

(ウエノ)

## 「しらかわホール」来年4月に再開

知交音楽団、愛知室内オーケストラなどが定期演奏会を継続し、室内楽や海外の演奏家が名演を披露したが、ビル売却のため昨年2月に惜しまれながら閉館した。

音楽関係者やクラシックファンが存続を求める署名運動も起こり、新会社が再開を決めた。

来年4月から10月までの利用を受け付け中。すでに何件も申し込みがあるという。

オーケストラはすでに来年度の予定を決定しており、至近の利用は無理だが、しらかわホールに合うシリーズを検討している。電気文化会館・コンサートホールとともに「しらかわホール」の再開で、クラシック音楽が一層盛んになることを期待したい。

(上原宏)

## 随所に見えた半年間の練習成果



「眠れる森の美女」のワンシーン

フェスティバル「眠れる森の美女」(10月5日・愛知県芸術劇場大ホール)が開かれた。

チャイコフスキーの3大バレエの中でも、最も華やかでメルヘンチックな作品。英国パルミンガム・ロイヤルバレエ

## 舞台批評

バレエ協会中部支部(松岡伶子支部長)による第46回中部バレエ

団などで実績のある山本康介の振付・演出。オーロラ姫には愛知県出身の吉田早織、王子には福岡雄大を迎えた。二人の卓越した技術、吉田の優雅で上品なパフォーマンスに見とれた。



朗読劇「弱法師」

## 「弱法師」能と朗読劇を連続公演

能楽堂定例公演

名古屋能楽堂の「十月定例公演」(10月19日)で



「弱法師」シテの衣斐愛

中部支部の多くのバレエ団から、オーディションで選ばれた総勢1000人のダンサーが、よくまとまった群舞とアンサンブルを見せ、主役と一体となったことが印象的だった。まるで一つのバレエ団のようなパフォーマンスを披露したのは、半年もの練習を積

み重ねた成果だろう。加えて田川陽子が魔女カラボス役で、大寺資二が国王、幸田律が式典長で、若いダンサーを支えたことに共感を覚えた。

長いプロローグ付きの3幕構成。演出面が目立ったのは、カラボスが派手に登場し、王子がオーロラ姫に会うのを邪

## レノ最期の10年間を映像で映画「ジョン・レノ最期の詩」



## ミッドランドほかで上映中

ビートルズ、ジョン・レノのファンなら、ぜひ見ておきたい映画が登場した。12月5日に公開された「夢と創造の果てに」ジョン・レノ最期の詩である。映画はビートルズ解散の1970年から、レノが非業の死を遂げた1980年の10年間を、貴重な映像と証言、音楽で振り返る。

ジョンとヨーコの出会いと生活の全貌、ポール・マッカートニーの法廷闘争、薬物使用の詳細、グ

## 会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6600円(税込み)。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面に名前を掲載(希望者のみ)。会員の関係する公演、イベント情報を優先的に掲載させていただきます。

【お申し込み、お問い合わせ】  
㈱マネージメント・プロ  
TEL 052(508)5095  
郵便振替口座 00880-6-206130

- 私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します
- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 青山 皆江  | 蟹江 尾八  | 戸田美江子  |
| 秋田昌子   | 神谷久美子  | 中川 幸作  |
| 荒川 洋子  | 北村 哲也  | 仲条 優理  |
| 飯田みち代  | 工藤寿々弥  | 夏目 久子  |
| 出田 光代  | 佐藤 典子  | 名鶴ひとみ  |
| 伊藤 修   | 佐藤美智子  | 西川 長秀  |
| 伊藤 敬   | 佐野 和美  | 野々山保治  |
| 伊藤 直樹  | 澤脇 達晴  | 野村 祐子  |
| 稲垣 舞比  | 白樺 八重  | 花咲 市岡  |
| 衣斐 愛   | まことほる  | 花柳 馨優  |
| 今村 早帆  | 杉江 瑞美  | 林 雅仁   |
| 内田 寿菊  | 鈴木 幾子  | 福井 啓子  |
| 内田 寿千代 | 鈴木久美子  | 淵本晴都子  |
| 内田 寿晴  | 鈴木 文雄  | 松波千津子  |
| 内田のり子  | 須山 仁美  | 松本 道子  |
| 内田のり美  | 角田真優美  | 見波 紀子  |
| 大寺 資二  | 高倉 麻耶  | 宮西 圭子  |
| 岡田 一男  | 武市 孝三  | 山口 雅子  |
| 岡崎 保彦  | 竹元まき子  | 吉田 尚弘  |
| 小倉ひろこ  | 田淵友佳理  | よしみゆうこ |
| 小野由加利  | 玉田 弘子  | 渡部 千枝  |
| 加藤 静子  | つつみあつき | ほか     |
| 金澤 志保  | 手塚 淑子  |        |
- 和光写真/㈱テス・大阪/㈱三光/Hide Dance Lab./㈱ビデオ教材社/松岡伶子バレエ団/エス・エー企画/Office KAN NORIKO BALLET STUDIO/かやの木芸舞踊学園/春日井市日本舞踊協会/メリー・アーティスト/カンパニー/関山スタジオ 特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木伊子/ミュージカルアカデミー-KAO/(一社)復曲能を観る会 フィルハーモニー・ウィーン/名古屋/明珠会 山村菜乃/川島ナナバレエ研究所/スマイル・ミュージカル・アカデミー Rose Ballet Academy/越智インターナショナルバレエ/Rrバレエスタジオ 杉江瑞美/一般社団法人イタリア音楽振興会



